第129号

THE KANSAI UNIVERSITY NEWS

# 関西大学通信

関西大学広報委員会
大阪府吹田市山手町3丁目

ケンブリッジ・ケム河にて〝平底船（パント）を楽しむ学生たち〟

## 風景　経度零度の国

橋本　昭一

### ≪アダム・スミスの生誕地≫

スミスが生れ、育った町カーコーディを訪れたのは、イギリスの夏にしては珍しく暑い日であった。

駅の近くの小さな博物館で購いもとめたパンフレットを開くと、スミスの名をもつホール、洗礼を受けた教会、通学した学校、居住していた家跡などを、要領よく尋ねて歩くコースが示してある。

パンジーとダリアとペチュニアが同居する家々の庭を眺めながら旧市内に入ると、スミスの名をもつ十八世紀そのままの、ひと一人がやっと通り抜けれるような小路に出会う。そこを抜けると前は大きな入江で、対岸にエディンバラの町が見える。

「貴男の見えるところへ戻ってきて、窓からカーコーディを望むことが出来るのは大変うれしい……」と、失意の哲学者デーヴィッド・ヒュームは、スミスあての手紙に書いている。二百年前のことである。

高性のマリー・ゴールドをびっしりと植え込んだ町役場の広場のベンチに坐って、小一時間、スコットランドの夏の太陽を楽しんだ。

　囀（さえずり）が現（うつつ）へ戻す　白昼夢

カーコーディにくるまでの車窓からは、大麦を収穫したのちの野火や、鹿なども見ることができたが、そこから北のハイランドは、起伏が多く、羊がのんびりと草を食む牧場が視野のつづくかぎりひろがる。小高い丘にヒースが咲き群がっている。そういう荒野がヒースで、花はヘザーというと、人からおそわった。

　末黒野のとどまる所　原子炉立つ

### ≪カール・マルクスの墓≫

ロンドンのハイゲートといえば少なくとも近年までは、高級住宅街として有名であった。マルクスの墓は、そこの墓地にある。何度か爆破されたらしいが、そのたびに、より豪華な墓石に置きかえられるということである。

無縁墓が多く、印刻された文字が剝落しているものも多い。かくも有名な人の墓ならば、人の後についてゆけばよかろうと思っていたが、見つけるまでかなり手間どった。墓地は広く、しかも目指す墓は周縁部にあったからである。墓そのものは、周辺の無縁墓の敷地を五つ六つ「収奪」したのではないかと思うほど、豪華なものであった。

「万国の労働者よ、団結せよ」という『共産党宣言』の最後に登場する、有名なスローガンが刻まれた像の下には、真新しい菊の花が献辞とともに置かれていた。向かいがわのハーバード・スペンサーの墓石に坐っていた老人が、それが東ドイツの高官たちによって献げられたものであることを教えてくれた。

　たわわなまで　社会主義者の墓の菊

子供たちが栃の実（チェスナット）をとろうとして、石や棒切れを大木めがけて投げつけていたのが、印象に残っている。

### ≪ジョン・M・ケインズの家≫

私は「ハーヴェイ通りの前提」という流行語を知らなかったが、ケンブリッジのハーヴェイ通り六番地でケインズが、一八八三年に生れたことは知っていた。

町の南に住んでいた三カ月間は、買い物のたびに、この標識を横目で眺めながら市内へ向かったものである。生家はそのままの姿をとどめ、現在は集合住宅として大学関係者によって利用されているようである。道の両側の栃の木はかなりの大樹である。

イングランドの古い町には、露店市が集まる広場がかならずある。中世以来その場所は同じというところが多い。ケンブリッジのマーケット・スクェアーの横に、小さな劇場がある。ケインズが、バレリーナであった妻のために建てたものである。私も一度、最上階の最後列の席を二五〇〇円で買った。この劇が喜劇だったのは、私にとっては悲劇であった。

　売りものの雉子（きじ）吊られおり　劇場横

ケインズが独立したのちに住んだ家は、現在ひとつのカレッジに組み込まれている。

### ≪アルフレッド・マーシャルの墓≫

カレッジ所有の果樹園になる、りんごや西洋梨の実を、学生は毒味する権利を有するや否やと何人かのイギリス人に質問したが、明確な返答は得られなかった。

八月から十一月まで、鞄の中には、いつも数個のりんごをしのばせていた。甘酸っぱい歯ごたえを思い出すと、今でも生唾がでてくる。

誰によっても紹介されていない、ケインズの師マーシャルの墓を捜しに出かけたのは、杏の花が咲き乱れる早春の日であった。

マーシャルの名をもつ学部図書館の副館長が、告別式の案内カードを保存しておられたので、墓地はすぐわかった。

墓地の管理人に一ポンド払って、埋葬台帳を見せて貰い、位置もすぐ判明したが、墓碑をもたない、墓であり、しかもそのあたり一帯が刺草（いらくさ）と蔦におおわれていたので、一日では捜しだせなかった。囲い石にへばりついた蔦をはがす作業のため、皮手袋をひとつ駄目にしてしまった。マーシャルの墓を見つけたのは、明日ケンブリッジを去るという日であった。

　朝露に目覚める墓石　経度零

墓を見つけたときには、管理人の夫人と抱きあって喜んだ。二カ月前のことである。

（経済学部教授）

## 千里眼

去年の夏久しぶりにスペインを訪れた。フランコ亡きあとの様変わりで、若者たちの自由でのびやかな姿が目についたが、相変わらずだなと微苦笑をもらしたことが一再ならずあった▼ちょっと始業点検や下準備をすれば済むことなのだが、たまたま乗ったバスと地下鉄の電車からは突然、故障だからといって降ろされたし、ある野外音楽会では舞台から遠い聴衆を慮って用意されたはずのアストロヴィジョンが、これまた故障で写らなかった▼そんなある日、友人の紹介でマドリードに住むコロンビア人の老学究と知り合った。ボゴタの某出版社の在スペイン代表員を務める一方、国立図書館でラテンアメリカ史を研究してきた闊達な人だ。大の日本びいきと聞いたので理由を訊ねると、何しろ日本人もインディオも同じ翠古人種ですからねということだった。もし他人の緊張を解きほぐしてくれる人を紳士と呼ぶのなら、この老学究こそその名に恥じぬ人だと思った▼帰国してまもなくNHKで『私は日本のスパイだった』という番組を見た。先の大戦のときスペインにあった日本の諜報組織の長が、米国での活動を語るという内容で、なかなか見応えのある作品だった▼元スペイン公使館の書記官の三浦文夫氏の証言をもとに、マドリードに飛んだ取材班がかつての組織の長を尋ねあてる過程はスリリングだったが、今では元スパイも闘牛好きの質朴そうな老紳士にすぎなかった▼幕切れで彼が、四十年前の同僚でいま病床にある三浦氏の声の便りを聞いて、思わず目をうるませる場面には心打たれた。スペイン人は自分を対象化するのが苦手な反面、いたって人情が厚い。今度の旅でもつくづくそう感じた。（W・H）

# 遼寧大学との初の教員相互派遣計画内定

いよいよ本年より協定に基づく教員の相互派遣が実施される。

既報のとおり、本学初の国際学術交流協定を遼寧大学（中国・瀋陽市）との間で締結し、スタート初年度にあたる本年度の相互派遣計画が次のとおり内定した。

本学に受入れることになる李桂山・朱眉叔両先生についての詳しい紹介は、後日にゆずるとして、大よその横顔を記すと次のとおりである。

李桂山先生は、世界経済（日本経済）の専門家で、日本経済の巨視的経済管理及び微視的企業管理に関心をもっておられ、中国の社会主義経済を講ずる用意があるとのこと。朱眉叔先生は、中国古代文学の専門家で、中国の明清文学についての関心が強く、紅楼夢及び清代文化・文芸思想を講ずる用意があるとのことである。

（国際交流課）

遼寧大学側の派遣計画は、李桂山・経済学副教授を九～十一月、朱眉叔・中文系副教授を十二～二月のそれぞれ三ヶ月の派遣を予定しており、本学側の派遣計画では、日下恒夫文学部助教授を七～八月、大岩正芳工学部教授を九～十月、薗田香融文学部教授を九～十一月のそれぞれ二ヶ月の派遣を予定している。

協定によれば、双方派遣されている相手方の派遣計画通知を受理してから二ヶ月以内に正式に招請状を発送することになっており、本学側の派遣予定者については、既に正式に招請状を受理したのち、所要の学内手続を経て決定の運びとなろう。

本学に受入れることになる李桂山・朱眉叔両先生についての詳しい紹介は、後日にゆずるとして、大よその横顔を記すと次のとおりである。

## キャンパス情報

### 来学抄信

**上海市大学代表団の来訪**

大阪・上海の学術交流事業の一環として著名な上海市大学代表団（団長余士海市高等教育局副局長以下五名）は、さる五月二十日（金）本学に来学、学長への表敬訪問のあと映画「百舌の鳥」を鑑賞し、本学での学生生活と施設について説明会を開催した。

「中国人の生活とその考え方」をテーマに、五月二十七日（金）一カ月の予定で本学の河野通明教授の時間いっぱいにかけて、文学的表現もない。しかし、高度に発達した社会は、同時に、人間を疎外する側面をもつ。大学の存立の根底は、人間を疎外するものとして拒否する傾向がある。それは、まさに大学の崩壊の時代であった。

この崩壊の時代を、戦後、本学はいかに克服したか。以来年月は過ぎ、今ここに、四十年の時の流れをみる。この間、本学の発展は、全関大人の手によるものであることはいうまでもない。しかし、われわれは、この発展を過去にしまい込むことのないように、百周年を記念して事業を展開することのみでおわってよいのだろうか。内実への問い直しの作業こそが、同時にわれわれ人にとって、百年の歴史の上に立ち、米るべき百年を設定しなければならない。ということが、百周年の意味である。

本学が果たしてきた社会的役割を、一方では認めつつも、さまざまな視点から、本学百年の歴史が総括されねばならないことはいうまでもない。かも、それは、全関大人の手によって行われなければならないだろう。この点に、百周年の持つ重要な意味がある。

本学は、単へ百年の年面を数えようとしている。端的に百年とはいうものの、この時間の持つ意味には、まことに重いものがある。百年間の歴史である。同時に、わが国近代の歴史と共に、本学は、わが国近代史の流れの中で歩むことはできない。百年の時間の中でわれわれが体験したことは、まさに筆舌尽し難いものがある。たんなる年譜を通りしみても、空白なる年行間が語りかけるものを、われわれは自然と感ずるであろう。さまざまな学徒が来り、そして去っていった。たくさんのことを学び、何を為したかということが問われねばなるまい。

「正義を掘刀より守れ」は、従前本学学徒の好んで用いた、児島惟謙に因むモットーである。これは、当時の世の流れの中で消え去っていった時代があった。同次の世界大戦、とりわけ第二次世界大戦の中で、本学は苦闘しつつも、かつ強靭の時流の中に身を委ねたのである。試練の時がいかに厳しかったかを、文学的表現もない。しかし、高度に発達した社会は、同時に、人間を疎外する側面をもつ。大学の存立の根底は、人間を疎外するものとして拒否する傾向がある。それは、まさに大学の崩壊の時代であった。

この崩壊の時代を、戦後、本学は、かかる中で、本学はいかなる人材を育成すべきか。それは、決して、くんくんと、時流の中で急ぎ足をする人材を意味しない。これらの学徒に感じ取り、学問の人間的変革を学ぶ人材こそが、社会的に期待されているといってもよいであろう。

本学が今もって、百周年を記念して事業を展開するのであるならば、その事業は、この観点に立脚し、伝統と学術・文化はいうまでもなく、教育の実践に寄与するものであらねばならないであろう。

（文学部教授）

## 創立100周年にむけて

### —学生諸君へ—

学生部長　小川　悟

### 新任教員紹介

**工学部助手　伊藤　淳志**

昭和五十二年本学工学部建築学科卒業、五年間同大学院工学研究科修士課程修了。

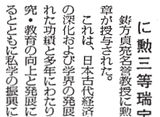
修士論文は「地下連続土留壁の硬化抵抗に関する理論的研究」。現在は建築学。趣味はクラシック音楽・教育の向上と発展に協力される鑑賞とスポーツ全般、特にサッカー、バレーボール。広島県出身。

**二年本学工学部建築学科　五十嵐　章**

これは、日本古代経済史の研究の進化および学界の発展に大きく寄与された功績に多年にわたり本学の研究・教育の向上と発展に協力され、学術・文化の研究に多大の貢献を寄与されて功績にあるものである。

**銘方貞亮名誉教授に勲三等瑞宝章**

銘方貞亮名誉教授に勲三等瑞宝章が授与された。



銘方貞亮名誉教授

### 図書館だより

**EC資料センター**

EC資料センターが五月十二日、本学等再四図書館のカレント雑誌室内に開設された。

欧州共同体（EC）は、欧州経済共同体（EEC）、欧州石炭鋼鉄共同体（ECSC）及び欧州原子力共同体（EURATOM）の総称であって、現在、フランス、西ドイツ、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ、イギリス、デンマーク、アイルランドの九ヶ国が加盟している。ECの組織は、EC閣僚理事会（最高意思決定機関）、EC委員会（執行機関）、及びEC議会（諮問機関）、EC裁判所から成っている。EC資料センターに送られてくる資料は、先に述べたEC各機関の他、欧州投資銀行、経済社会諮問会、EC監査院及びEC統計局等の各機関が別に発行するものが次の主題に従って区分されている。

①機構・総論　②共同体法　③対外関係・開発・援助　④経済・金融問題　⑤域内市場・産業問題　⑥貿易　⑦組織・社会問題・教育　⑧農業・漁業（水産）　⑨運輸　⑩情報処理　⑪金融機関・税制（関税同盟）　⑫地域政策　⑬エネルギー　⑭用・資源・予算　⑮統計　⑯その他、なお、各項目に分類されていない、本学の場合、資料の充実に努めるとともに、利用者へのサービスの確立を図ることが当面の課題となっており、一日も早く利用者の要望に応えるべく努力している。

次に、所蔵資料のうち主要欧文逐刊物を紹介する。EC月次報告、EC農業市場報告、EC経済報告、EC農業市場報告、欧州投資銀行年次報告、欧州議会調査資料、EC官報、EC官報索引、EC出版物・資料目録、EC関係協定集、EC競争政策報告、EC社会問題報告などである。

本学における他の国際機関の資料としては、国際連盟、ILO（国際労働機関）の出版物が収集されている。また、経済・政治研究はOECD関係資料館の資料を収集しており、EC資料とともに利用されることを期待している。

○日時　六月一日午後二時
場所　工学部新研究棟集会室
演題「植物の組織培養と細胞融合」
大阪経済大学教授　吉川　光一

○日時　六月二日午後二時～四時
場所　工学部研究棟集会室
演題「破壊の話」
講師　オーストリア鉱山冶金大学前学長・ミーリッヒシュミット国体物理研究所長　H・スチューベ

○日時　六月七日午後一時～三時三十分
場所　工学部二〇一教室
演題「医用材料の可能性（人工臓器、高分子医薬）」
講師　大阪大学教授　竹本　喜一（工学部と共通）

○日時　六月十日午後一時
場所　工学部研究棟集会室
演題「最近の通信技術動向」
講師　日本電気（株）　島崎　誠彦

### 工技研特別講演会

○日時　六月二十八日午後二時四分
場所　工学部四〇八教室
演題「最近の通信技術動向」
講師　日本電気（株）　島崎　誠彦

### 独語講演会

○日時　六月二日午後一時～四時十分から、第一学年三・四・AV・A教室において、独文学会と視聴覚教室の主催で、Prof.Dr.Volker Beeh（京都大学講師）による独語講演会が開催された。

講演題「Reid und welt-Wortfetischtheorie（ことばの物神性）」

講師　大阪市立大学教授　大津　隆行

### 法学部学術講演会

去る六月二日（木）午後、時から三時三十分まで、第一学舎二号館三六教室で、B・レーリング氏が、「東京裁判の今日的意義」の演題で講演された（通訳は安藤仁介神戸大学法学部教授）。

レーリング氏は、オランダの国際法学者で、現在、グローニンゲン平和研究所長の職にあり、元極東国際軍事裁判判事の三名唯一人の存命者として著名な碩学である。日本の戦後をめぐるさまざまな論議が活発な折から、時宜を得た好企画に多数の聴衆が参集し、大きな感銘を与えた。

### 工学部特別講演会

○日時　五月二十六日午後一時～二時三十分
場所　工学部二〇一教室
演題「流動層におけるフィシャートロピシュ合成法」
講師　バージニア州立大学名誉教授　A・M・スケアイズ

○日時　五月二十日午前十時～十二時
場所　大学院講義室二八教室
演題「産業衛生学概論」
講師　東亜鑛料工業（株）　小峰　弘久

また、ひき続いて、次のような講演会の開催も予定されている。

日時　六月二十四日午後一時～三時
場所　工学部四〇八教室
演題「ラジカル重合の分子設計」
講師　大阪市立大学教授　大津　隆行

○日時　六月二十八日午後二時四分
場所　工学部四〇八教室
演題「最近の通信技術動向」
講師　日本電気（株）　島崎　誠彦

### EC資料センター開所式挙行される

駐日EC委員会代表のブリンクホルスト氏（左）らを迎えての開所式。（右）は大西学長

本年一月、EC（欧州共同体）委員会から、本学図書館にEC資料センターを設置することが認められた。去る五月十二日（木）午後、駐日EC委員会代表のL・J・ブリンクホルスト氏一行五名を迎えてEC資料センターの開所式が、関西大学会館において開催された。

当日は、EC委員会代表部一行の学長への表敬訪問と、学内見学のあと、午後四時～五分よりEC資料センターにおいて開所式の主宰が行われた。

EC資料センターは、本学図書館にEC資料センターを設置することが認められたことを受けて、EC委員会代表と本学教職員（学長ほか）による、ディスカッションが行われた。討議は教学部長の司会により「ECと日本との関係について」の今日的テーマのもとに、一時間余に亘り活発な意見の交換が行われた。

なお、ブリンクホルスト氏はオランダのライデン大学、米国のコロンビア大学に学ばれたのち、母国のオランダで学究生活の傍ら政界入りをし、現在、下院議員である。昨年十月、EC委員会より駐日EC委員会代表に任命され、十二月に来日、東京商事の政務のうちに、学究として日本の大学の訪問を希望され、本学がこの最初の訪問先となった。また、同代表には、欧州統合、欧州共同体法に関する多くの著書、論文がある。

（図書館）



# 就労条件を確かめよう

夏休みを目前に控え、学生諸君の中には、すでにあれこれと夏休みのプランを練り上げ、あとはその資金調達をアルバイトで考えている人も多いだろう。ここで注意してほしいことは、実際、夏休みの学生アルバイトの需給が普段に比べ急増し、それにつれて、トラブルや事故が発生する例が多いということである。そこで、ごく手短にアルバイトをする上での諸注意を述べておく。

まず大切なことは、仕事上の安全性と就労条件の確認である。大学で斡旋する場合は、危険を伴うと考えられる職種は取扱わないが、自分で捜す場合でも、アルバイト学生自身が自らの安全をはかるための留意をすることが必要である。また、アルバイトといえども、労働契約が成立して就労するという筋道にはかわりはない。この労働契約とは、使用者とアルバイターが、法に定められた労働条件を明示・確認・合意して、はじめて成立するものである。よく、詳しく条件を聞いていなかった」とか「紹介してくれた○○さんに聞けばわかると思っていた」というような、就労条件を十分に確かめず就労する例を聞くが、直接本人が納得できるまで聞きただしておくことが望ましい。大学では、雇用主に対して、つねに労働条件の明示とともに、出勤・就労を証明するよう協力を求めている（大学で斡旋する紹介状を参考のこと）。この面でもアルバイト学生諸君の注意が大切である。

つぎの問題は、アルバイトをする理由をしっかりつかんでいるかどうかということである。大学進学の目的とアルバイトとが倒錯してしまうと大変で、ずるずると安易にアルバイトへ傾くことのないように心がけたいものである。日常生活がアルバイト収入によって〝拡大発展〟するとやがて自制に苦労することにもなりかねない。つまり、金銭面でうるところがあるが一方、貴重な学生生活のなかで失うものは大きいということである。このような視点を欠くと、社会人としての責任の自覚も期待できないことになろう。

以上で、アルバイトの諸注意を述べたが、アルバイトに就労し、万一、事故やトラブルに遭遇したときには、ためらわずに学生部へ相談に来られたい。

（学生部）

### ―夏休みのアルバイト―

アルバイトで大切なのは安全性と就労条件の確認

# 夏…爽快な黒菱山の家へ

使用10日前迄に申し込みを

「関大黒菱山の家」は、冒州日馬の麓、八方尾根の一角、黒菱平にある。同施設は二階建て和室、ベッド・ルームを有し約六〇名の収容能力をもっており、年間を通じて用かれている。冬は本格的なスキー場として有名だが、夏はリーズンもそれなりの魅力があるようで、ゆったりと利用できる。そこで、夏休みの旅行プランに加えてみようと思われる向きに、山の家宿泊利用を絡ませた周辺のガイドをしてみたい。

【その一】朝九時に新大阪を発つと、午後三時ごろには「山の家」に着く。標高千六百メートルの山の家での朝夕は、夏場でも冷気がさす。とくに、夜空は一見に価する。都会で仰ぐ夜空には見ることのできなかった星空が眼につぱいに拡がり、思わず学生歌も口をついて出てくるという風情だ。「御空に輝くりゅう爆の　北斗の星にあこがれつ…」と。歌詞もお眺め向きで　はない　いだろうか。明け方、旭日に映えて八ヶ岳に染まる白馬三山が眼前に迫って見えるあの眺望…。早起きは三文の徳とはよくいったものだ。天気のよい日には、眺原岳まで登れば立山連峰、富士山を遥望できる。また、下界とは一味違う、清涼感は、説得力グループ研究などにも絶好の場所といえよう。

【その二】絵本と糸魚川圏一〇五・四キロにわたる国鉄大糸線の沿線はまた、実に旅情豊かである。絵本から北へ約十キロ、柏木町、穂高一帯は、通称「安曇野」といわれ、道祖神、因幡の白兎、ワサビ田、ルレ、ルレ、ルレ

# 私の好きな文房具

≪50音順≫

## いとしのオリベッティ

鵜飼　康東

昭和五十五年四月に米国留学のための試験準備にとりかかってから英文タイプライターには随分お世話になった。

最初は流麗なデザインで有名なオリベッティのレッテル36を用いて書類を作製した。とこころが英語力の貧弱なことあって打ち間違いばかりする。手紙の各所に訂正用の白インクがはみでまかれる始末である。

たまたまある店でIBMのセレクトリックス82という電動タイプライターを見かけて、一目で惚れこんでしまった。デザインはずんぐりむっくりして野暮のため敬遠していたが、自動装置がついているのに感激したのだ。

知らないが試験は無事に合格してハーバード大学に行けることになった。

さて、五十六年七月にボストンに着いて大学からもらった研究室と、迎えの倉庫へ連れていってくれ学部の事務室へ行って、グロリアーリッとという鬼のように恐ろしい事務長の婆さんに泣きつく音がして語学を交える様が折れてしまった。涙まで誤で誤である。

仕方なくスキーを買うことを諦めるようなことを考えた。確かに十字架機械と同じだと、御見の仲人のようなことを言うと、ロッドレフ博士に怒られるかもしれないが、いずれも毎日の研究に欠かせないものである。また、技術進歩のお陀仏から見れば、がらくた同然のものの中に、本人にとっては、愛着の深い文房具というものが誰にもあると思われる。

安くて便利な文房具でもいつ書き、紙と鉛筆と小刀と消しゴムさえあれば、それをいじっているだけで、機嫌がよくなるという人もあるだろう。

思い出したとき、家族の温愛の文房具をめぐって、自らを孤立させた人も少なくないだろう。

たとえそれがどんなささやかなものであっても、文房具がわれわれの生活のなかでもっている一種独特の馬あいや、ほのぼのとなつかしいゆくりと思いをひそめることは、日々の寄りどころ活力をよみがえらせる至福一助となるにちがいない。

先生方が、これまでいとしんでいる文房具に愛用、秘蔵してられた文房具にまつわるとっておきの話を公開していただいたお礼に召せば、うれしいかぎりであります。

（山野）

## 万年筆、グアム島、職人芸

竹下　賢

横井さんが四度と副交の生活を送ったグアム島へ、「恥ずかしながら」新婚旅行に出かけ旅の思いもとかたものである。この書きやすく、長時間書いてもまり疲れないというとが、万年筆にもとめる第一の条件である。そのためにはペンの重さが重さがなければならない思い。今回の西ドイツ出張中に、ちょうど「モンブラン」を拝したとこ「モンブラン」を買ったことはまさにこの条件を満たしてくれるものであるのである。そしてこれは、ドイツにおいても伝統的に培われた職人芸の味をもった製品と思うのである。

それにつけて思い出すのは、横井さんが常に生活で使っている洋服や目用品を「照示」している、グアム島の博物館である。粗末な材料から作られた自身がつつにしっかりと機能的にできている。

それは横井さんがとても洋服仕立の職人であったことを示す。職人芸の味をもった製品が消えていくのは、なんとも寂しい。

（法学部助教授）

## テープ&カッター　切り貼りの効用

陶山　計介

昔いうところの「糊とハサミ」の現代版である。テープ（スコッチ・メンディングテープ）は糊のように手を汚さない。カッター（オルファ製）はその成功スピードにおいてハサミをはるかに凌ぐ。どちらも現代にふさわしい文房具といえよう。

研究者という職業を選択するようになって長いものである。一つの戒告めいた語をきいたことがある。研究者の生命は学問生にあるとわれわれの「書物」とすべきである。と。だから「糊とハサミ」は最もふさわしい文房具の代名詞であった。

大学としてはもちろん異論はない。既存の研究との過ないを上、当然、既存の概念や分析用具の本は無駄されない。研究や理論の「新しさ」は常にそうした概念や分析用具の位置づけ、意味内容の変化に求められるべきであると考えられる。従来のものと異なる新しい発想や理論体系はしばしば、既存の理論における諸変数の一定の編成様式の革新によって可能とならないだろうか。

この再編成が一つの研究段階をもらわすであろう。「糊とハサミ」の効用を決して小さくないといわなければならない。とはいえ、真に新しい理論が創造されるためにはさらに幾度にわたる自己の論理そのものの再構成が不可欠である。私自身のテープ&カッターの用もむむろこちらの方に大きなウエイトがおかかっている。

学問の発展にとって息詰めや論理の展開を自由自在に敢断し再構成することはなくてはならない作業である。そのための文房具としてテープ&カッターはこ数年来私のデスクから消えたことがない。まだしばらくはその庇方になるそうである。

（商学部助手）

## 好きな文房具三つ

柏木　隆夫

常の仕事に使っているものは、いずれも実用品だが、「好きな」という心の動きは、機能だけでなく、こちらの心が動いとか直まるとかしないと呼ぶ気にはなれないからだろう。

第一は、父の形見の一つになった胴巻の鋏である。大学院生ころの頃だったか、「つ欲しいと言いそえて選んだら、それは国分別のにしてくれと言った所精買れた。殆ど円に近く、透しは至一歳の縁、ほんのちょっとだけ金張がしてある。一番見合のいい文鎮である。十二支の金銀象嵌のある小柄もあって、ペーパーナイフに欲しかったが、試にと投げてみた。いずれ実用品だから、相手が硬すぎて突抜けさまに柄尻が抜けた。鋏とたがねでこまかしておいたとこと、「お前がやったこと一言で叱られた。その紐はさ分すり減れている。驚いたとき身も剣ひた状態だったが、一二センチばかりの可愛らしいのだから、手頃な刃物はなくでもだら、カッターいらずの切れ味で投げてみたくなる気でもえんなことはしない。「守り刀に」というある。指が二本しかかからないの

第二は、鉛筆を削るとき切出しのつもりで持ったと指の刃が切れて、しまうが、馴れればなんの不自由もない。ちょっと柔弱な気もする道具で「黒田」という名も刻んで口ったきたから、イタリアへ持って行った。半分に擦が あるわけだ。第三は電算機の矢立、勿論古

ある。昔の職人や八百屋さん魚屋さんが使っていた手合で、こで溜まった漁の余り気ないい刷りが気に入ったから自分でお金を出した。墨壺郷は「墨田」さんは、さ手かしゆかしい方だったうえに遠慮を他人でいる。墨壺を欲しかったが、灰皿にするんがあると思いてやめてしまった。墨壺だって立派な道具である。墨ではない。

（文学部教授）

## 情報処理センター新設

### 教育研究体制を整備充実

昭和五十七年度の予算は、本法人をとりまく環境と、現存する入的・物的組織、資金源泉等の検討の上に立って、教育・研究の質的向上と特化のための諸施策を最重点とすることを基本に編成された。

設置学校それぞれの重点目標は、副理事長が述べているとおりである。

当初予算は、それ以後の収入増

去る五月三十日開催の評議員会において、関西学校法人（関西大学の供設が承認されて、法人当局の稲野治兵衛副理事長・田村契財務局長に解説を願った。

昭和五十七年度の予算は、本法人をとりまく環境と、現存する入的・物的組織、資金源泉等の検討の上に立って、教育・研究の質的向上と特化のための諸施策を最重点とすることを基本に編成された。

設置学校それぞれの重点目標は、副理事長が述べているとおりである。

当初予算は、それ以後の収入増加、事業計画の追加、変更などによって補正されている（昭和五十七年十月第一次補正、昭和五十八年三月第二次補正）。

この予算によって実施した事業の概要と、収支決算の概要は次のとおりである。

## 事業の概要

㈠教育・研究関係

基本的には、一定の人的・物的要件のもとに、教育研究のプログラムを組織的、継続的に実行して、その特色化は、人的・物的な面と、教育研究の各方面における制度の整備、教育研究活動そのものに発揮される。

とりわけ、大学にあっては、上記の重点目標に向けて所年から引き続き教育研究体制の整備充実に努力され、情報処理センター（国際交流課の新設、重点目標にかかわる制度・組用の整備が推進された。

① 個人研究関係

国際交流の促進と充実の一環として整備充実された「在外研究員制度」によって、学術研究員、調査研究員併せて二十三名（昨年十名）が派遣され、研究に従事した。

個人研究費補助である学会出張旅費、個人研究図書費について地源をはかったが、本年度から高等学校・中学校・幼稚園にも個人研究図書費の制度を設けた。

② 機関研究関係

各研究所では、それぞれ固有の共同研究をすすめ、多くの研究成果出版物を刊行した。

工業技術研究所においては、本年度も私学振興団体研究費金の補助を受けて、特色ある研究を継続する一方、今後の同研究所のメインテーマとなる新たな研究に着手した。

東西学術研究所、工業技術研究所、文学部の共同研究と特別講演会、経済・政治研究所の産業セミナーはかな研究所の特色ある公開講座、これらは従来とおり継続実施された。

③ 学部等の教育研究関係

学部・大学院は独自に教育課程の充実を図り、高等学校は、新教育課程実施のため効果的な教育課程を編成し、「特別時間」を新設した。中学校では「ゆとりの時間」の効率的運用を図った。また両校とも、それぞれの教育目標の充実を図るため「特別時間」を新設した。幼稚園は、自主性の陶冶、協同性の涵養の基本方針のもと、特色ある保育を実施した。

大学においては、短期招へい外国人研究員四名を受入れ、特色ある教育研究活動を行った。また、新設された情報処理センターは、既定の計画を実施するとともに、企学生に対する「コンピュータ講習会」のほか、各種講習会を実施した。他方、吹田市民大学教養講座をはじめとする公開講座も、新教育研究活動を行った。また、図書資料の収集は、購入、受贈を含め、大学四万二、八五〇冊、高中一、四九七冊を受入れ、その結果、年度末蔵書冊数は、大学一四万五、〇〇〇冊、高中三万四、〇三六冊となった。

大学図書館においては、増図書資料、貴重図書の収納保管所の確保、学内諸機関所蔵の学術雑誌目録（欧文編）の刊行、国際交換業務の拡充（慶熙大学との交流、EC資料センターの設置）等を計画どおり実施した。また、図書館業務の電算化については、情報処理センターの協力のもと、図書の閲覧・貸出管理、学術文献情報検索サービスの実施に向けて引き続き検討をすすめている。

㈡学生福利厚生関係

関西大学奨学金は、年次計画に基づき充実した。寮、山の家、保健管理センターは既定の計画を継続実施し、学生就職指導についても前年に引き続き強化した。

なお、関西大学生活協同組合貸与している施設の改善も引き続き実施した。

㈢組織関係

① 教職員組織（表Ⅰ）

教育職員の補充は計画どおり実施した。即ち、大学二十二名、高中四名である。しかし、大学において、死亡退職者などのため現実在員は予算人員を大幅下回った。なお、前年度比較では二名の増となっている。

事務職員については、予算人員を上回ったが、これは、中途退職者が少なかったこと、国際交流課、情報処理センターの新設などのために必要な人員を確保しなければならない事情が生じたことによる。

② 学生数（表Ⅱ）

㈣施設設備関係

本年度実施した主要事業は次のとおりである。

総合図書館・情報処理センター建築（初年度）

一億四一、八五〇万円

工学部実験実習棟増改築（初年度）

一億二、四〇〇万円

第三学舎エレベーター建築

四、五五〇万円

第三・第四グラウンド照明設備

九、七〇〇万円

第四グラウンド倉庫他新築

七、五四万円

合計　一四億四、〇七七万円

当初予算は計上していた天六学舎新学生会館（仮称）増築設計調査費は、本年度も実施できず五十八年度に繰り越した。

設備のうち図書については前述したが、教育用機器備品などは一、二三二点の購入、寄贈受入を

（8面に続く）

## 汗と涙の万年筆

堂垣　正博

職業柄、私の身の回りには数多くの文房具が溢れている。鉛筆、万年筆・ボールペン等の筆記用具。定規・コンパス・ロットリング等の作図用具。電卓等の計算用具。数えだければ切りがない、いずれも毎日の研究に欠かせないものばかりである。また、技術進歩の著しい昨今ではこれらに加えてパソコンやワープロのOA機器が研究室にも登場しかめた。旧来の機器に比較して際目の感があり、研究の効率化に大い役立っている。近い将来には家庭に一台は普及し、欧米のタイプなみに日本語処理が可能になる。

ところで、私の机の中には千数本の万年筆が並んでいる。書き心地のよいものや古くて使用不可能なものの。私自身で購入したものや貰われたもの……。その中に、古ぼけて使用はできないが、思い出の深い万年筆がある。

中学校入学の当日、私は硬式野球部に入ることを決めていた。ただ、運動の場に吹奏楽部を選んだ。わずか十数名だけの小人数のクラブであったから、幸いにも新しく赴任しられた先生方課外活動に非常に熱心な方で、一年たらずの間に五十名にも及ぶ大所世のクラブに発展された。日々の練習はとても厳しくて、授業が終わるや午後七時を過ぎる頃まで延々と続けられる。

いま、私の机（図参ニたり）の上には、多くの文房具類が並べられている。鉛筆、けしゴム、万年筆、ボールペン、鉄・糊・クリップ、小型ホッチキス、原稿用紙など。昨年の十二月から二月にかけて、これらはまさに戦場だった。私がなにかにおいてもがらはっていたのである。本文の経済・政治研究所で「調査と資料」と「研究双書」の二冊を執筆しもっとも、こうした私にも、書いたものを、「原稿用紙」と言う。

私の手にピタリとなじんでいる。原稿用紙にも沿平の好き嫌いがある。二百字詰だとあまり良い文章やアイデアが浮かんこない。私にとって一まとまりのアイデアや文章ということになると四百字詰ないしは八百字詰の原稿用紙が最適である。手頃な長さということになるのだろうか。不思議なことだが、どうもそのようなシュタット（「全体的なまとまり」）ができなかった。それは主としてプランニングの不足とタイプの誤りによるものだ。思い切って、ボナプランニングの年筆である。モンブランの会社が主力製品の万年筆のモデル・チェンジを計ったことによる。いま多く出回っている新しい「モンプラン」は、いろいろ工夫されている。

私が愛用しているのは「モンブラン」の現代版である。モンブランの万年筆である。モンブランの国際にあるアルプスの有名な山の名前であるが、「ちょうどドイツの製品である。こう言えば、この四月に私が西ドイツから買ってきたものである。

昨年の十二月、ボナ学舎の事務室へ行って、グロリアーリッとという鬼のように恐ろしい事務長の婆さんに泣きつくことになった。

ボストンの電機メーカーをたらんでいるとき、荒字の良さそうな小人さんがすすめた。「これ、ちょっと使ってみてください」と言いそえて、ボストンの電機メーカーのブラキシス30をしきりにすすめた。軽くて、安くて、デザインが良く、性能はIBMの最新鋭機に匹敵するものだ。

ようなことを言うと、「恥ずかしながら」、「ボナ」は、「ボナ」の仲人の国際にあるアルプスの有名な山の名前であるが、「ちょうどドイツの製品である。こう言えば、この四月に私が西ドイツから買ってきたものである。

横井さんが西ドイツ出張中に、ちょうどこの書くことが多い人間にとっては、そういうことではなくて、書きやすく、長時間書いてもまり疲れないということが、万年筆にもとめる第一の条件である。そのためにはペンの重さが重さがなければならない思い。今回の西ドイツ出張中に、ちょうどこの書くことが多い人間にとっては、そういうことではなくて、書きやすく、長時間書いてもまり疲れないということが、万年筆にもとめる第一の条件である。そのためにはペンの重さが重さがなければならない思い。今回の西ドイツ出張中に、ちょうどこの書くことが多い人間にとっては、そういうことではなくて、書きやすく、長時間書いてもまり疲れないということが、万年筆にもとめる第一の条件である。そのためにはペンの重さが重さがなければならない思い。今回の西ドイツ出張中に、ちょうどこの書くことが多い人間にとっては、そういうことではなくて、書きやすく、長時間書いてもまり疲れないということが、万年筆にもとめる第一の条件である。そのためにはペンの重さが重さがなければならない思い。今回の西ドイツ出張中に、ちょうどこの書くことが多い人間にとっては、そういうことではなくて、書きやすく、長時間書いてもまり疲れないということが、万年筆にもとめる第一の条件である。そのためにはペンの重さが重さがなければならない思い。今回の西ドイツ出張中に、ちょうどこの書くことが多い人間にとっては、そういうことではなくて、書きやすく、長時間書いてもまり疲れないということが、万年筆にもとめる第一の条件である。

（工学部専任講師）

# 昭和57年度　決算書

## 貸借対照表

昭和58年3月31日

| 資産の部 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 |
| I 固定資産 | 28,756,318,197 | 24,914,046,223 | 3,842,271,974 |
| 1 有形固定資産 | 15,292,285,775 | 13,911,865,635 | 1,380,420,140 |
| (1) 土地 | 1,807,866,200 | 1,807,866,200 | 0 |
| (2) 建物 | 5,998,847,810 | 6,175,267,057 | △176,419,247 |
| (3) 構築物 | 1,787,559,981 | 1,770,597,322 | 16,962,659 |
| (4) 教育研究用機器備品 | 2,368,008,325 | 2,283,921,434 | 84,086,891 |
| (5) その他の機器備品 | 78,977,689 | 75,786,261 | 3,191,428 |
| (6) 図書 | 1,938,457,081 | 1,756,867,301 | 181,589,780 |
| (7) 車輌 | 5,868,689 | 7,360,060 | △1,491,371 |
| (8) 建設仮勘定 | 1,306,700,000 | 34,200,000 | 1,272,500,000 |
| 2 その他の固定資産 | 13,464,032,422 | 11,002,180,588 | 2,461,851,834 |
| (1) 電話加入権 | 2,985,515 | 2,825,515 | 160,000 |
| (2) 施設利用権 | 7,254,000 | 7,812,000 | △558,000 |
| (3) 長期有価証券 | 60,000,000 | 60,000,000 | 0 |
| (4) 長期受取手形 | 38,740,851 | 50,740,851 | △12,000,000 |
| (5) 長期貸付金 | 919,379,840 | 837,046,740 | 82,333,100 |
| (6) 年金基金引当特定資産 | 334,900,731 | 334,900,731 | 0 |
| (7) 拡充基金引当特定資産 | 2,775,837,280 | 1,552,210,010 | 1,223,627,270 |
| (8) 教育振興植田基金引当特定資産 | 532,423,217 | 529,641,217 | 2,782,000 |
| (9) 奨学基金引当特定資産 | 18,224,069 | 11,360,791 | 6,863,278 |
| (10) 退職給与引当金引当特定資産 | 3,191,888,960 | 3,745,022,574 | △553,133,614 |
| (11) 減価償却引当金引当特定資産 | 570,620,159 | 570,620,159 | 0 |
| (12) 総合図書館建築資金引当特定資産 | 1,604,300,000 | 1,200,000,000 | 404,300,000 |
| (13) 校地拡充資金引当特定資産 | 2,700,000,000 | 1,400,000,000 | 1,300,000,000 |
| (14) 厚生施設建設資金引当特定資産 | 300,000,000 | 300,000,000 | 0 |
| (15) 電気供給施設建設資金引当特定資産 | 400,000,000 | 400,000,000 | 0 |
| (16) 100周年記念事業引当特定資産 | 7,477,800 | 0 | 7,477,800 |
| II 流動資産 | 7,342,451,646 | 6,927,840,815 | 414,611,031 |
| (1) 現金・預金 | 4,614,100,350 | 5,668,923,510 | △1,054,823,160 |
| (2)未収入金 | 432,346,048 | 269,999,185 | 162,350,863 |
| (3) 貯蔵品 | 2,457,275 | 2,092,492 | 364,783 |
| (4) 有価証券 | 1,767,116,573 | 765,482,846 | 1,001,633,727 |
| (5) 受取手形 | 19,491,523 | 14,551,007 | 4,940,516 |
| (6) 前払金 | 146,117,773 | 116,907,747 | 29,210,026 |
| (7) 修学旅行費預り資産 | 33,106,584 | 41,066,426 | △7,959,842 |
| (8) 工学部実験実習用建築資金引当資産 | 206,000,000 | 0 | 206,000,000 |
| (9) 経過利息 | 113,251,520 | 39,811,402 | 73,440,118 |
| (10) 預け金 | 8,416,000 | 8,672,000 | △256,000 |
| (11) 立替金 | 48,000 | 52,000 | △4,000 |
| (12) 仮払金 | 0 | 286,000 | △286,000 |
| 資産の部合計 | 36,098,769,843 | 31,841,886,838 | 4,256,883,005 |

| 負債の部 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 |
| I 固定負債 | 6,836,938,860 | 7,021,518,565 | △184,579,805 |
| (1) 長期借入金 | 3,214,850,000 | 2,468,360,000 | 746,490,000 |
| (2) 学校債 | 430,200,000 | 419,600,000 | 10,600,000 |
| (3) 退職給与引当金 | 3,191,888,960 | 4,133,558,565 | △941,669,605 |
| II 流動負債 | 5,019,974,419 | 4,936,959,127 | 83,015,292 |
| (1) 短期借入金 | 753,510,000 | 553,510,000 | 200,000,000 |
| (2) 学校債 | 144,400,000 | 153,900,000 | △9,500,000 |
| (3) 未払金 | 534,498,593 | 546,328,980 | △11,830,387 |
| (4) 前受金 | 3,253,554,169 | 3,448,211,613 | △194,657,444 |
| (5) 修学旅行費預り金 | 33,106,584 | 41,066,426 | △7,959,842 |
| (6) その他の預り金 | 300,905,073 | 193,942,108 | 106,962,965 |
| 負債の部合計 | 11,856,913,379 | 11,958,477,692 | △101,564,313 |

| 基本金の部 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 |
| (1) 基本金 | 21,385,474,897 | 17,968,611,628 | 3,416,863,269 |
| (2) 特定基本金 | 3,661,385,297 | 2,428,112,749 | 1,233,272,548 |
| 基本金の部合計 | 25,046,860,194 | 20,396,732,377 | 4,650,127,817 |

| 消費収支差額の部 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | △805,003,730 | △513,323,231 | △291,680,499 |
| 消費収支差額の部合計 | △805,003,730 | △513,323,231 | △291,680,499 |

| 科目 | 本年度末 | 前年度末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| | 円 | 円 | 円 |
| 負債の部・基本金の部および消費収支差額の部合計 | 36,098,769,843 | 31,841,886,838 | 4,256,883,005 |

注 1. 減価償却額の累計額の合計　43,785,563,363円
2. 徴収不能引当金の合計　4,479,800円
　期末未収入金に対する引当金　96,800円
　長期貸付金　〃　4,383,000円
3. 担保に供されている資産の種類及び額は次のとおりである。
　（公債　139,635.12㎡）
　土地　168,834,462㎡　1,017,984,624円
4. 翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行なうこととなる金額　3,998,728,000円
5. 消費収支計算書脚注2に記載する退職給与引当金に関する会計処理の変更により、従来の方法に比して、退職給与引当金期末残高は、1,189,496,306円少なくと表示されています。

## 消費支出の部

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 人件費 | 10,011,287,000 | 10,591,522,150 | △580,235,150 |
| 教員人件費 | 6,497,929,000 | 6,463,010,063 | 34,918,937 |
| 職員人件費 | 3,466,565,000 | 3,462,632,005 | 3,932,995 |
| 役員報酬 | 44,340,000 | 44,339,310 | 690 |
| 退職金 | 258,000 | 5,876,000 | △5,618,000 |
| 退職給与引当金繰入額 | 2,195,000 | 615,664,772 | △613,469,772 |
| 教育研究経費 | 3,431,809,000 | 3,252,821,257 | 178,987,743 |
| 旅費交通費 | 255,622,000 | 215,595,584 | 40,026,416 |
| 消耗品費 | 693,338,000 | 689,225,768 | 4,112,232 |
| 印刷費 | 197,953,000 | 189,194,495 | 8,758,505 |
| 製本費 | 11,229,000 | 9,571,272 | 1,657,728 |
| 通信運搬費 | 66,492,000 | 58,295,524 | 8,196,476 |
| 光熱水費 | 295,180,000 | 240,142,369 | 55,037,631 |
| 補助費 | 116,094,000 | 84,919,747 | 31,174,253 |
| 広告費 | 3,750,000 | 778,200 | 2,971,800 |
| 減価償却額 | 573,044,000 | 590,401,008 | △17,357,008 |
| 修繕費 | 504,155,000 | 503,221,105 | 933,895 |
| 除却費 | 13,336,000 | 11,163,500 | 2,172,500 |
| 保険料 | 8,775,000 | 8,772,658 | 2,342 |
| 業務委託費 | 399,062,000 | 380,259,797 | 18,802,203 |
| 賃借料 | 145,268,000 | 143,639,644 | 1,628,356 |
| 租税公課 | 2,169,000 | 2,162,810 | 6,190 |
| 諸会費 | 2,765,000 | 2,617,340 | 147,660 |
| 支払手数料・報酬 | 66,410,000 | 59,838,899 | 6,571,101 |
| 交際費 | 7,860,000 | 5,514,260 | 2,345,740 |
| 会議費 | 30,424,000 | 29,766,759 | 657,241 |
| 雑費 | 32,883,000 | 27,740,518 | 5,142,482 |
| 管理経費 | 627,367,000 | 607,672,580 | 19,694,420 |
| 旅費交通費 | 27,715,000 | 27,570,885 | 144,115 |
| 福利厚生費 | 26,684,000 | 26,056,806 | 627,194 |
| 年金 | 44,918,000 | 43,651,715 | 1,266,285 |
| 消耗品費 | 47,212,000 | 45,571,505 | 1,640,495 |
| 印刷費 | 36,474,000 | 35,749,277 | 724,723 |
| 製本費 | 142,000 | 74,850 | 67,150 |
| 通信運搬費 | 17,245,000 | 15,686,392 | 1,558,608 |
| 光熱水費 | 26,852,000 | 26,851,235 | 765 |
| 補助費 | 10,300,000 | 10,300,000 | 0 |
| 広告費 | 45,686,000 | 45,502,700 | 183,300 |
| 減価償却額 | 46,028,000 | 45,830,162 | 197,838 |
| 修繕費 | 57,798,000 | 57,797,440 | 560 |
| 除却費 | 400,000 | 0 | 400,000 |
| 保険料 | 1,569,000 | 1,070,764 | 498,236 |
| 業務委託費 | 140,773,000 | 140,274,831 | 498,169 |
| 賃借料 | 4,880,000 | 4,654,400 | 225,600 |
| 租税公課 | 10,225,000 | 9,787,481 | 437,519 |
| 諸会費 | 11,911,000 | 11,910,358 | 642 |
| 支払手数料・報酬 | 20,120,000 | 19,687,019 | 432,981 |
| 交際費 | 11,000,000 | 10,837,052 | 162,948 |
| 会議費 | 29,500,000 | 20,184,616 | 9,315,384 |
| 雑費 | 9,935,000 | 8,623,092 | 1,311,908 |
| 借入金等利息 | 297,010,000 | 289,397,785 | 7,612,215 |
| 借入金利息 | 297,010,000 | 289,397,785 | 7,612,215 |
| 資産処分差額 | 21,215,000 | 11,777,604 | 9,437,396 |
| 建物処分差額 | 1,846,000 | 1,846,084 | △84 |
| 教育研究用機器備品処分差額 | 17,554,000 | 8,862,135 | 8,691,865 |
| その他の機器備品処分差額 | 1,311,000 | 428,036 | 882,964 |
| 図書処分差額 | 500,000 | 634,049 | △134,049 |
| 車輌処分差額 | 4,000 | 7,300 | △3,300 |
| 徴収不能引当金繰入額 | 0 | 121,000 | △121,000 |
| 徴収不能額 | 0 | 993,582 | △993,582 |
| （予備費） | (16,565,000) 53,435,000 | — | 53,435,000 |
| 消費支出の部合計 | 14,442,123,000 | 14,754,305,958 | △312,182,958 |
| 当年度消費支出超過額 | 351,510,000 | 291,680,499 | — |
| 前年度繰越消費支出超過額 | 513,323,000 | 513,323,231 | — |
| 翌年度繰越消費支出超過額 | 864,833,000 | 805,003,730 | — |

注1　予備費の使用額は次のとおりである。

| | | |
|---|---|---|
| 管理経費支出： | 修繕費 | 7,000,000円 |
| | 業務委託費 | 9,565,000 |
| | 計 | 16,565,000 |

2　退職給与引当金については、従来、法人部会退職による期末要支給額の50%を残高基準としていましたが、当会計年度より、自己部会退職による期末要支給額の50%を残高基準とすることに変更しました。この変更により、従来の方法に比して、当年度消費支出超過額は1,189,496,306円少なく表示されています。又、この変更に伴う過年度の退職給与引当金の修正額1,097,236,115円は雑収入に計上しています。なお、この会計処理変更に伴う修正額と同額を拡充基金に組入れています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| （予備費） | (28,965,000) 71,035,000 | — | 71,035,000 |
| 資金支出調整勘定 | △518,000,000 | △646,682,832 | 127,682,832 |
| 期末未払金 | △400,000,000 | △527,682,593 | 127,682,593 |
| 前期末前払金 | △116,955,000 | △116,907,747 | △253 |
| 前期末貯蔵品 | △2,090,000 | △2,092,492 | 492 |
| 次年度繰越支払資金 | 4,702,814,000 | 4,614,100,350 | 88,713,650 |
| 支出の部合計 | 25,036,842,000 | 26,810,256,097 | △1,773,414,097 |

注1　予備費の使用額は次のとおりである。

| | | |
|---|---|---|
| 管理経費支出： | 修繕費 | 7,000,000円 |
| | 業務委託費 | 9,565,000 |
| 借入金等返済支出： | 学校債返済 | 40,000 |
| 施設関係支出： | 構築物 | 11,500,000 |
| 設備関係支出： | 図書 | 500,000 |
| | 計 | 28,965,000 |

## 消費収支計算書

昭和57年4月1日から
昭和58年3月31日まで

（単位　円）

| 消費収入の部 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金 | 11,448,997,000 | 11,454,115,000 | △5,118,000 |
| 授業料 | 7,515,870,000 | 7,520,944,500 | △5,074,500 |
| 入学金 | 2,201,750,000 | 2,201,870,000 | △120,000 |
| 実験・実習料 | 308,057,000 | 307,073,500 | 983,500 |
| 維持拡充資金 | 1,423,320,000 | 1,424,227,000 | △907,000 |
| 手数料 | 1,434,337,000 | 1,436,425,795 | △2,088,795 |
| 入学検定料 | 1,426,401,000 | 1,429,377,000 | △2,976,000 |
| 選考料 | 492,000 | 514,000 | △22,000 |
| 再入学金 | 611,000 | 533,000 | 78,000 |
| 試験料 | 412,000 | 304,600 | 107,400 |
| 証明手数料 | 5,831,000 | 4,679,195 | 1,151,805 |
| その他の手数料 | 590,000 | 1,018,000 | △428,000 |
| 寄付金 | 117,571,000 | 167,120,151 | △49,550,151 |
| 特別寄付金 | 101,250,000 | 133,647,440 | △32,397,440 |
| 一般寄付金 | 0 | 72,000 | △72,000 |
| 現物寄付金 | 16,321,000 | 33,400,711 | △17,080,711 |
| 補助金 | 3,128,212,000 | 3,242,133,228 | △113,921,228 |
| 国庫補助金 | 2,845,400,000 | 2,951,338,000 | △105,938,000 |
| 地方公共団体補助金 | 279,812,000 | 287,094,228 | △7,982,228 |
| 学術研究振興資金 | 3,700,000 | 3,700,000 | 0 |
| 資産運用収入 | 980,910,000 | 1,300,621,401 | △319,711,401 |
| 年金基金引当特定資産運用収入 | 24,000,000 | 29,545,782 | △5,545,782 |
| 拡充基金引当特定資産運用収入 | 108,000,000 | 126,391,155 | △18,391,155 |
| 教育振興植田基金引当特定資産運用収入 | 40,300,000 | 39,985,526 | 314,474 |
| 奨学基金引当特定資産運用収入 | 770,000 | 865,278 | △95,278 |
| 退職給与引当金引当特定資産運用収入 | 267,000,000 | 310,376,528 | △43,376,528 |
| 減価償却引当金引当特定資産運用収入 | 40,000,000 | 55,016,093 | △15,016,093 |
| 総合図書館建築資金引当特定資産運用収入 | 84,000,000 | 102,161,882 | △18,161,882 |
| 校地拡充資金引当特定資産運用収入 | 98,000,000 | 115,783,467 | △17,783,467 |
| 厚生施設建設資金引当特定資産運用収入 | 17,000,000 | 27,243,168 | △10,243,168 |
| 電気供給施設建設資金引当特定資産運用収入 | 18,000,000 | 40,864,752 | △22,864,752 |
| 受取利息・配当金 | 264,900,000 | 418,715,628 | △153,815,628 |
| 施設設備利用料 | 18,940,000 | 33,672,142 | △14,732,142 |
| 資産売却差額 | | 29,844,909 | △29,844,909 |
| 有価証券売却差額 | | 29,844,909 | △29,844,909 |
| 事業収入 | 84,160,000 | 79,008,379 | 5,151,621 |
| 補助活動収入 | 60,349,000 | 59,838,190 | 510,810 |
| 付属事業収入 | 23,811,000 | 19,170,189 | 4,640,811 |
| 雑収入 | 721,000,000 | 1,403,484,413 | △682,476,413 |
| 雑収入 | 68,078,000 | 70,658,719 | △2,580,719 |
| 私学退職金財団交付金 | 256,751,000 | 224,781,850 | 31,975,150 |
| 過年度消費支出修正額 | | 10,807,729 | △10,807,729 |
| 退職給与引当金取崩額 | 396,171,000 | 1,097,236,115 | △701,063,115 |
| 収入合計 | 17,915,194,000 | 18,112,753,276 | △1,197,559,276 |
| 基本金組入額合計 | △3,824,581,000 | △4,650,127,817 | 825,546,817 |
| 基本金 | △2,794,751,000 | △4,415,855,269 | 622,999,269 |
| 特定基本金 | △1,029,831,000 | △1,233,272,548 | 203,441,548 |
| 消費収入の部合計 | 14,090,613,000 | 13,462,625,459 | △372,012,459 |

| 消費支出の部 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 教育研究経費支出 | 2,851,565,000 | 2,645,118,488 | 206,446,512 |
| 旅費交通費支出 | 255,622,000 | 215,595,584 | 40,026,416 |
| 消耗品費支出 | 692,138,000 | 671,924,007 | 20,213,993 |
| 印刷費支出 | 197,953,000 | 189,194,495 | 8,758,505 |
| 製本費支出 | 11,229,000 | 9,571,272 | 1,657,728 |
| 通信運搬費支出 | 66,492,000 | 58,295,524 | 8,196,476 |
| 光熱水費支出 | 295,180,000 | 240,142,369 | 55,037,631 |
| 補助費支出 | 116,094,000 | 84,919,747 | 31,174,253 |
| 広告費支出 | 3,750,000 | 778,200 | 2,971,800 |
| 修繕費支出 | 504,155,000 | 503,221,105 | 933,895 |
| 除却費支出 | 13,336,000 | 11,163,500 | 2,172,500 |
| 保険料支出 | 8,775,000 | 8,772,658 | 2,342 |
| 業務委託費支出 | 399,062,000 | 380,259,797 | 18,802,203 |
| 賃借料支出 | 145,268,000 | 143,639,644 | 1,628,356 |
| 租税公課支出 | 2,169,000 | 2,162,810 | 6,190 |
| 諸会費支出 | 2,765,000 | 2,617,340 | 147,660 |
| 支払手数料・報酬支出 | 66,410,000 | 59,838,899 | 6,571,101 |
| 交際費支出 | 7,860,000 | 5,514,260 | 2,345,740 |
| 会議費支出 | 30,424,000 | 29,766,759 | 657,241 |
| 雑費支出 | 32,883,000 | 27,740,518 | 5,142,482 |
| 管理経費支出 | 581,339,000 | 561,842,418 | 19,496,582 |
| 旅費交通費支出 | 27,715,000 | 27,570,885 | 144,115 |
| 福利厚生費支出 | 26,684,000 | 26,056,806 | 627,194 |
| 年金支出 | 44,918,000 | 43,651,715 | 1,266,285 |
| 消耗品費支出 | 47,212,000 | 45,571,505 | 1,640,495 |
| 印刷費支出 | 36,474,000 | 35,749,277 | 724,723 |
| 製本費支出 | 142,000 | 74,850 | 67,150 |
| 通信運搬費支出 | 17,245,000 | 15,686,392 | 1,558,608 |
| 光熱水費支出 | 26,852,000 | 26,851,235 | 765 |
| 補助費支出 | 10,300,000 | 10,300,000 | 0 |
| 広告費支出 | 45,686,000 | 45,502,700 | 183,300 |
| 修繕費支出 | 57,798,000 | 57,797,440 | 560 |
| 除却費支出 | 400,000 | 0 | 400,000 |
| 保険料支出 | 1,569,000 | 1,070,764 | 498,236 |
| 業務委託費支出 | 140,773,000 | 140,274,831 | 498,169 |
| 賃借料支出 | 4,880,000 | 4,654,400 | 225,600 |
| 租税公課支出 | 10,225,000 | 9,787,481 | 437,519 |
| 諸会費支出 | 11,911,000 | 11,910,358 | 642 |
| 支払手数料・報酬支出 | 20,120,000 | 19,687,019 | 432,981 |
| 交際費支出 | 11,000,000 | 10,837,052 | 162,948 |
| 会議費支出 | 29,500,000 | 20,184,616 | 9,315,384 |
| 雑費支出 | 9,935,000 | 8,623,092 | 1,311,908 |
| 借入金等利息支出 | 297,010,000 | 289,397,785 | 7,612,215 |
| 借入金利息支出 | 297,010,000 | 289,397,785 | 7,612,215 |
| 借入金等返済支出 | 707,810,000 | 707,810,000 | 0 |
| 借入金返済支出 | 553,510,000 | 553,510,000 | 0 |
| 学校債返済支出 | 154,300,000 | 154,300,000 | 0 |
| 施設関係支出 | 1,443,400,000 | 1,440,775,000 | 2,625,000 |
| 建物支出 | 54,500,000 | 53,040,000 | 1,460,000 |
| 構築物支出 | 116,400,000 | 115,235,000 | 1,165,000 |
| 建設仮勘定支出 | 1,272,500,000 | 1,272,500,000 | 0 |
| 設備関係支出 | 566,578,000 | 560,732,235 | 5,845,765 |
| 教育研究用機器備品支出 | 388,125,000 | 382,649,735 | 5,475,265 |
| その他の機器備品支出 | 12,734,000 | 12,733,350 | 650 |
| 図書支出 | 165,209,000 | 165,189,150 | 19,850 |
| 車輌支出 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| 電話加入権支出 | 410,000 | 160,000 | 250,000 |
| 資産運用支出 | 2,685,125,000 | 4,951,273,505 | △2,266,148,505 |
| 拡充基金引当特定資産への繰入支出 | 1,026,365,000 | 1,223,627,270 | △197,262,270 |
| 教育振興植田基金引当特定資産への繰入支出 | 2,782,000 | 2,782,000 | 0 |
| 奨学基金引当特定資産への繰入支出 | 678,000 | 6,863,278 | △6,185,278 |
| 総合図書館建築資金引当特定資産への繰入支出 | 404,300,000 | 404,300,000 | 0 |
| 校地拡充資金引当特定資産への繰入支出 | 1,000,000,000 | 1,300,000,000 | △300,000,000 |
| 工学部実験実習用建築資金引当特定資産への繰入支出 | 206,000,000 | 206,000,000 | 0 |
| 100周年記念事業引当特定資産への繰入支出 | 0 | 7,477,800 | △7,477,800 |
| 修学旅行費預り資産への繰入支出 | 45,000,000 | 33,106,584 | 11,893,416 |
| 有価証券購入支出 | 0 | 1,767,116,573 | △1,767,116,573 |
| その他の支出 | 1,165,229,000 | 1,249,933,508 | △84,704,508 |
| 貸付金支払支出 | 259,600,000 | 205,180,000 | 54,420,000 |
| 前期末未払金支払支出 | 539,687,000 | 539,512,980 | 174,020 |
| 修学旅行費預り金支払支出 | 50,000,000 | 41,066,426 | 8,933,574 |
| その他の預り金支払支出 | 193,942,000 | 193,942,108 | △108 |
| 前払金支払支出 | 88,000,000 | 146,117,773 | △58,117,773 |
| 貯蔵品支払支出 | 2,000,000 | 2,398,701 | △398,701 |
| その他の支出 | 32,000,000 | 121,715,520 | △89,715,520 |

## 資金収支計算書

昭和57年4月1日から
昭和58年3月31日まで

（単位　円）

| 収入の部 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金収入 | 11,448,997,000 | 11,454,115,000 | △5,118,000 |
| 授業料収入 | 7,515,870,000 | 7,520,944,500 | △5,074,500 |
| 入学金収入 | 2,201,750,000 | 2,201,870,000 | △120,000 |
| 実験・実習料収入 | 308,057,000 | 307,073,500 | 983,500 |
| 維持拡充資金収入 | 1,423,320,000 | 1,424,227,000 | △907,000 |
| 手数料収入 | 1,434,337,000 | 1,436,425,795 | △2,088,795 |
| 入学検定料収入 | 1,426,401,000 | 1,429,377,000 | △2,976,000 |
| 選考料収入 | 492,000 | 514,000 | △22,000 |
| 再入学金収入 | 611,000 | 533,000 | 78,000 |
| 試験料収入 | 412,000 | 304,600 | 107,400 |
| 証明手数料収入 | 5,831,000 | 4,679,195 | 1,151,805 |
| その他の手数料収入 | 590,000 | 1,018,000 | △428,000 |
| 寄付金収入 | 101,250,000 | 133,719,440 | △32,469,440 |
| 特別寄付金収入 | 101,250,000 | 133,647,440 | △32,397,440 |
| 一般寄付金収入 | 0 | 72,000 | △72,000 |
| 補助金収入 | 3,128,212,000 | 3,242,133,228 | △113,921,228 |
| 国庫補助金収入 | 2,845,400,000 | 2,951,338,000 | △105,938,000 |
| 地方公共団体補助金収入 | 279,112,000 | 287,094,228 | △7,982,228 |
| 学術研究振興資金収入 | 3,700,000 | 3,700,000 | 0 |
| 資産運用収入 | 980,910,000 | 1,300,621,401 | △319,711,401 |
| 年金基金引当特定資産運用収入 | 24,000,000 | 29,545,782 | △5,545,782 |
| 拡充基金引当特定資産運用収入 | 108,000,000 | 126,391,155 | △18,391,155 |
| 教育振興植田基金引当特定資産運用収入 | 40,300,000 | 39,985,526 | 314,474 |
| 奨学基金引当特定資産運用収入 | 770,000 | 865,278 | △95,278 |
| 退職給与引当金引当特定資産運用収入 | 267,000,000 | 310,376,528 | △43,376,528 |
| 減価償却引当金引当特定資産運用収入 | 40,000,000 | 55,016,093 | △15,016,093 |
| 総合図書館建築資金引当特定資産運用収入 | 84,000,000 | 102,161,882 | △18,161,882 |
| 校地拡充資金引当特定資産運用収入 | 98,000,000 | 115,783,467 | △17,783,467 |
| 厚生施設建設資金引当特定資産運用収入 | 17,000,000 | 27,243,168 | △10,243,168 |
| 電気供給施設建設資金引当特定資産運用収入 | 18,000,000 | 40,864,752 | △22,864,752 |
| 受取利息・配当金収入 | 264,900,000 | 418,715,628 | △153,815,628 |
| 施設設備利用料収入 | 18,940,000 | 33,672,142 | △14,732,142 |
| 資産売却収入 | 0 | 795,327,755 | △795,327,755 |
| 有価証券売却収入 | 0 | 795,327,755 | △795,327,755 |
| 事業収入 | 84,160,000 | 79,008,379 | 5,151,621 |
| 補助活動収入 | 60,349,000 | 59,838,190 | 510,810 |
| 付属事業収入 | 23,811,000 | 19,170,189 | 4,640,811 |
| 雑収入 | 324,835,000 | 295,381,995 | 29,453,005 |
| 雑収入 | 68,078,000 | 70,600,145 | △2,522,145 |
| 私学退職金財団交付金収入 | 256,757,000 | 224,781,850 | 31,975,150 |
| 借入金等収入 | 1,650,000,000 | 1,655,400,000 | △5,400,000 |
| 長期借入金収入 | 1,000,000,000 | 1,000,000,000 | 0 |
| 短期借入金収入 | 500,000,000 | 500,000,000 | 0 |
| 学校債収入 | 150,000,000 | 155,400,000 | △5,400,000 |
| 前受金収入 | 2,847,412,000 | 3,253,554,169 | △406,142,169 |
| 授業料前受金収入 | 833,500,000 | 1,031,615,000 | △198,115,000 |
| 入学金前受金収入 | 1,820,150,000 | 1,977,760,000 | △157,610,000 |
| 実験・実習料前受金収入 | 31,597,000 | 39,150,000 | △7,553,000 |
| 維持拡充資金前受金収入 | 162,165,000 | 201,291,000 | △39,126,000 |
| その他の前受金収入 | 0 | 3,738,169 | △3,738,169 |
| その他の収入 | 1,165,274,000 | 1,384,276,591 | △219,002,591 |
| 退職給与引当金引当特定資産からの繰入収入 | 480,287,000 | 553,133,614 | △72,846,614 |
| 修学旅行費預り資産からの繰入収入 | 50,000,000 | 41,066,426 | 8,933,574 |
| 貸付金回収収入 | 93,270,000 | 122,879,900 | △29,609,900 |
| 前期末未収入金収入 | 262,017,000 | 269,812,585 | △7,795,585 |
| 修学旅行費預り金受入収入 | 45,000,000 | 33,106,584 | 11,893,416 |
| その他の預り金受入収入 | 180,000,000 | 300,905,073 | △120,905,073 |
| 前期末受取手形決済収入 | 14,551,000 | 14,551,007 | △7 |
| その他の収入 | 40,149,000 | 48,821,402 | △8,672,402 |
| 資金収入調整勘定 | △3,797,468,000 | △3,888,631,166 | 91,162,166 |
| 期末未収入金 | △346,757,000 | △432,928,030 | 86,171,030 |
| 前期末前受金 | △3,448,212,000 | △3,448,211,613 | △387 |
| 期末受取手形 | △2,500,000 | △7,491,523 | 4,991,523 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,668,924,000 | 5,668,923,510 | 490 |
| 収入の部合計 | 25,036,842,000 | 26,810,256,097 | △1,773,414,097 |

| 支出の部 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 人件費支出 | 10,483,937,000 | 10,435,955,640 | 47,981,360 |
| 教員人件費支出 | 6,497,929,000 | 6,463,010,063 | 34,918,937 |
| 職員人件費支出 | 3,466,565,000 | 3,462,632,005 | 3,932,995 |
| 役員報酬支出 | 44,340,000 | 44,339,310 | 690 |
| 退職金支出 | 475,103,000 | 465,974,262 | 9,128,738 |

## 財政の概要

(1)資金収支決算

資金収支の決算額は、教育・研究諸費、財政諸費の積増を、資金の収入の出納としてとらえたものであって、これを、学校法人会計基準に拠って表示したものが別掲の資金収支計算書である。

ここで、説明の便宜上、これを多少組替え表示したものが表Ⅱの資金収支決算書である。以下これによって説明する。

……収入の部……

ア、学生生徒等納付金収入

決算額は予算額とほぼ同額となった。前年度比八億二、五〇〇万円の増収は学費改定三年目（大学院は二年目）の効果による。しかし、過年学費を納めた学生数は減少している（表Ⅲ）。

イ、手数料収入

主要なものは入学検定料である。前年度比一、九〇〇万円の減収となったが、これは、入学志願者数が全学で一、〇三一人減少したことによる。

ウ、寄付金収入

大学、高等学校の施設・設備拡充資金寄付金と諸々の指定寄付金である。予算対比では増収となり、前年度比較では一、九〇〇万円の減収である。

エ、補助金収入

私立大学経常費助成金は、予算対比では一億五〇〇万円の増収となった。これは、予算見積の段階で想定した、補助の配分方式が改めて見直し検討されたが、他方、政策的に、急激な減額となることを避けようとされたことによる。しかし、前年度比較では一億六、九〇〇万円の減少となった。昭和五十六年度まで毎年均加した私立大学等経常費補助金は遂に、減少することとなった。地方公共団体の経常費補助金は若干の増収となった。

オ、資産運用収入

貸借対照表の「その他の固定資産」の区分に掲記している各種特定資産（年金基金、拡充基金、教育振興積立基金、奨学基金等）の特定資産と、退職給与引当特定資産、総合図書館建設資金、校地拡充資金などの運用収入と、一般資金運用収入がその主なものである。

これら長・短資金の積極的運用の結果、予算対比では三億一九〇〇万円の増収、前年度比較では三億四、七〇〇万円の増収となった。

カ、事業収入・雑収入

資産売却収入、諸々の事業収入は概ね予算どおりであるが雑収入は私立大学退職金共済交付金の大幅増が主なものであり、予算対比で一億五〇〇万円の増収、前年度比較では三億四、七〇〇万円の増収となった。

キ、資産売却収入

資産運用として手許保証証券を売却した収入である。

ク、借入金等収入

総合図書館・情報処理センター建設資金のための長期借入金一〇億円、学校債（一億五、五四〇万円、退職資金としての短期借入金五億円である。

ケ、前受金収入

五十八年度新入生の入学金を含む前期分学費である。翌期は入学手続者数の増になる。

コ、その他の収入

退職給与引当金の会計処理の変更により、同引当資産から給付した五億五、三〇〇万円のほか、貸付金回収収入、未収入金収入等々である。

……支出の部……

ア、人件費支出

教職員の死亡、待遇改善に伴う費用を含む人件費支出である。前年度比一億八〇〇万円の増加となった。

職員の給与改定は、本俸については、四・五四％（定昇込六・七九％）の改定を行い諸手当は、扶養手当、住居手当および通勤手当について、これを引き上げる改善を行った。

イ、教育研究費支出

学術研究所費、経済・政治研究所費、工業技術研究所費、部落問題研究室費等）、学部等教育研究費（学部資料室費、考古学資料室費、視聴覚教室費、実験実習費、教材費、教育補導費、公開講座費等）、図書館費、学生福利厚生費などの諸経費である。

事業計画の実施時期の繰り、諸経費の節約、単価格の低下等の結果、二億六〇〇万円の予算残を生じた。

ウ、管理経費支出

設備学校における全般管理費、学生募集広報費、法人経費などで、概ね予算どおり執行した。

エ、借入金等利息支出・借入金等返済支出

既往の長期借入金（施設設備資金）の年賦返済支出と借入金利息、昨年度末短期借入金返済支出と、当年度期中借入金の利息支出である。

オ、施設関係支出

事業概要の施設設備関係で述べた施設費支出である。

カ、設備関係支出

教育研究用機器備品、図書などの購入費である。

キ、資産運用支出

資産運用支出を三区分して表示したが、上段のそれは、拡充基金引当特定資産など各特定資産への積入支出である。これらの運用収入の増加によって繰入支出も増加した。

下欄の資産運用支出は、資金運用としての公社債購入支出である。

以上、資金収支の主要項目を説明した。

これら資金収支項目を説明するに当って、資金収支計算書（表Ⅰ）の上欄は、当年度新たに取得した続的に保持すべき固定資産に投ずされた資金七億円、一〇〇万円、また、このような固定資産の取得資金として引当てた額一九億一、七〇〇万円、永続して保持すべき資産の取得にかかわる過年度借入金の返済資金四億六〇〇万円、並びに運転資金の恒常的有高の増加として三億円の合計額三四億一、六八五万円が基本金組入額である。

その財源は、帰属収入のうちの維持拡充資金、入学金の一部、特別寄付金、資産運用収入である。

特定基本金組入額は二億三、三〇〇万円で、その財源は、さきの退職給与引当金取崩し額（雑収入）、特定寄付金、当該特定資産の運用収入である。

ウ、消費収入

帰属収入から基本金組入額を控除した額で、消費に充てられる収入である。

……消費支出の部……

さきの資金収支決算書（表Ⅱ）

ア、帰属収入

帰属収入の各項目は資金収支決算書（表Ⅱ）の（収入の部）上欄にあるものと資産運用差額である。金額的に見積物資産を含み、資産売却収入のうちの売却差額のみが計上されている。

なお、五十七年度は、退職給与引当金の会計処理の変更などにより、これに伴う退職給与引当金取崩収入が、臨時的過度消費支出の修正として雑収入計上されている。

イ、基本金組入額

当年度新たに取得した続的に保持すべき固定資産に投ずされた資金七億円、一〇〇万円、また、このような固定資産の取得資金として引当てた額一九億一、七〇〇万円、永続して保持すべき資産の取得にかかわる過年度借入金の返済資金四億六〇〇万円、並びに運転資金の恒常的有高の増加として三億円の合計額三四億一、六八五万円が基本金組入額である。

その財源は、帰属収入のうちの維持拡充資金、入学金の一部、特別寄付金、資産運用収入である。

特定基本金組入額は二億三、三〇〇万円で、その財源は、さきの退職給与引当金取崩し額（雑収入）、特定寄付金、当該特定資産の運用収入である。

ウ、消費収入

帰属収入から基本金組入額を控除した額で、消費に充てられる収入である。

……消費支出の部……

さきの資金収支決算書（表Ⅱ）

エ、教育研究費支出

個人研究費、機関研究費（東西研究所費、経済・政治研究所費、工業技術研究所費）、部落問題研究室費等）、学部等教育研究費（学部資料室費、考古学資料室費、視聴覚教室費、実験実習費、教材費、教育補導費、公開講座費等）、図書館費、学生福利厚生費などの諸経費である。

事業計画の実施時期の繰り、諸経費の節約、単価格の低下等の結果、二億六〇〇万円の予算残を生じた。

オ、管理経費支出

設備学校における全般管理費、学生募集広報費、法人経費などで、概ね予算どおり執行した。

カ、借入金等利息支出・借入金等返済支出

既往の長期借入金（施設設備資金）の年賦返済支出と借入金利息、昨年度末短期借入金返済支出と、当年度期中借入金の利息支出である。

キ、資産運用支出

資産運用支出を三区分して表示したが、上段のそれは、拡充基金引当特定資産など各特定資産への積入支出である。これらの運用収入の増加によって繰入支出も増加した。

下欄の資産運用支出は、資金運用としての公社債購入支出である。

以上、資金収支の主要項目を説明した。

これら資金収支項目を説明するに当って、資金収支計算書（表Ⅱ）の（収入の部）下欄にあるものと資産売却差額である。

なお、五十七年度は、退職給与引当金の会計処理の変更などにより、これに伴う退職給与引当金取崩収入が、臨時的過度消費支出の修正として雑収入計上されている。学校法人会計基準の計算構造上ものを得ない会計処理であるが、明細比較をゆがめるものであるが、その額は一〇億九、七〇〇万円であって、その性質上、次に述べる基本金組入額の財源とした。

イ、基本金組入額

当年度新たに取得した続的に保持すべき固定資産に投ずされた資金七億円、一〇〇万円、また、このような固定資産の取得資金として引当てた額一九億一、七〇〇万円、永続して保持すべき資産の取得にかかわる過年度借入金の返済資金四億六〇〇万円、並びに運転資金の恒常的有高の増加として三億円の合計額三四億一、六八五万円が基本金組入額である。

その財源は、帰属収入のうちの維持拡充資金、入学金の一部、特別寄付金、資産運用収入である。

特定基本金組入額は二億三、三〇〇万円で、その財源は、さきの退職給与引当金取崩し額（雑収入）、特定寄付金、当該特定資産の運用収入である。

ウ、消費収入

帰属収入から基本金組入額を控除した額で、消費に充てられる収入である。

……消費支出の部……

さきの資金収支決算書（表Ⅱ）

エ、教育研究費支出

個人研究費、機関研究費（東西研究所費、経済・政治研究所費、工業技術研究所費）、部落問題研究室費等）、学部等教育研究費（学部資料室費、考古学資料室費、視聴覚教室費、実験実習費、教材費、教育補導費、公開講座費等）、図書館費、学生福利厚生費などの諸経費である。

事業計画の実施時期の繰り、諸経費の節約、単価格の低下等の結果、二億六〇〇万円の予算残を生じた。

オ、管理経費支出

設備学校における全般管理費、学生募集広報費、法人経費などで、概ね予算どおり執行した。

カ、借入金等利息支出・借入金等返済支出

既往の長期借入金（施設設備資金）の年賦返済支出と借入金利息、昨年度末短期借入金返済支出と、当年度期中借入金の利息支出である。

キ、資産運用支出

資産運用支出を三区分して表示したが、上段のそれは、拡充基金引当特定資産など各特定資産への積入支出である。これらの運用収入の増加によって繰入支出も増加した。

下欄の資産運用支出は、資金運用としての公社債購入支出である。

以上、資金収支の主要項目を説明した。

これら資金収支項目を説明するに当って、資金収支計算書（表Ⅱ）の（収入の部）下欄にあるものと資産売却差額である。

なお、五十七年度は、退職給与引当金の会計処理の変更などにより、これに伴う退職給与引当金取崩収入が、臨時的過度消費支出の修正として雑収入計上されている。学校法人会計基準の計算構造上ものを得ない会計処理であるが、明細比較をゆがめるものであるが、その額は一〇億九、七〇〇万円であって、その性質上、次に述べる基本金組入額の財源とした

# 大長篇の愉しみ

『戦争と平和』は、トルストイが五年の歳月をかけてこの長篇一筋にうちこみ、心血を注いで書き上げた大長篇で、ロシアで唯一の国民的叙事詩と謳えられている作品です。

この作品の大きな魅力の一つは歴史の芸術的記録という点で、普通の歴史書と異なり、読む者を歴史の中に誘いこんでしまう芸術の力というべきものがあります。時代はナポレオンの登場とポロジノの会戦を境にして二つの大きなうねりとする一八〇五年から一八一〇年頃までの歴史の怒々たる流れで、デカブリストの乱という大きなうねりの到来を予告するところで終らっています。

まずわれわれのまえに一八〇五年のナポレオンのフランスとの開戦前夜のペテルブルグモスクワの社交界や貴族生活の華麗な絵巻が展開されます。アンドレイ、ピエール、ニコライ、ナターシャなど主要人物の若々しい姿がわれわれのまえに現われ、貴族青年たちの乱脈な遊蕩生活、華やかな夜会、晩餐会、突然な遺産の相続をめぐるみにくい陰謀、清らかな恋、少女の恋、その悩みなど、貴族生活のさまざまな面が詳密に描写されます。これは誠に多彩な絵巻ですが、しかしこのあたりまではまれわれにとってまだロシアの遠い昔のものにしかすぎません。

ついに平和の中に大きなうねりがきます。ロシア軍がオーストリアに出動します。ナポレオンに憧れるアンドレイも、皇帝に忠誠を誓うニコライも四年士官として戦場へ赴きます。はじめて敵軍を前にし、生と死を面する一線を越えて、夏休みをむかえる学生諸君を挑発し、夏の陽盛りのなかで、あるいは眠られぬ熱帯夜に、はたまた、涼しげな水かげで、重厚長大なるものを繙くよう、すすめてみたく思い立った次第。

その結果たるや、果たして如何。後のちまで、心に忘れがたい感銘を残してくれる大長篇とのめぐりあいを願ってやまない。（山野）

＝50音順＝

## 爽やかな感動

工藤　精一

読書は、本来、理屈ぬきの無上の愉しみであるべきはずのものだが、時として、忍耐を要する、ひとつの修業のようなものであったほうがよい場合もあるのではないか。大長篇とのうれしき悪戦苦闘を何度か経験しているうちに、そのような確信を深めた人もきっと多いはず。

近年、ちまたでは、軽薄短小なるものがとみに歓迎されるご時世であるが、ここはちょっぴり無理をして、まに、また個々の参加者の目を通じて、詳密に描写され、時代の主潮が、ロシアの社会に及ぼす影響の大きさ、ロシアの社会に対する警鐘をもって、読む者の心に迫ります。トルストイは、ロシアの社会に対する、人類のみなる狂騒をもって、読む者の心に迫ります。トルストイは、ナポレオンの出現を明らかにし、ナポレオンの出現を、ロシアの国家存亡の秋に対する、ロシアの国家存亡の秋に対する、ロシアの国家存亡の秋に対する

# 新刊紹介

本紙では毎号、専任先生方の出された本の書評を「新刊紹介」と題して掲載しているが、多数の書評が寄せられたので、今号では特集を組むことにした。

それぞれの学部の専任先生方の新しい研究の成果を知ることができるが、書評を

## 法学部教授　石尾芳久著『一向一揆と部落』（三一書房・六五〇円）

本書は、近年、教科書問題などにおいて問題視されている「部落問題」を、一向一揆と部落の起源論（「部落の起源を一向一揆（とりわけ蓮如以後の一揆）関連過程との密接的関係において把握する——の正当性を実証するものである。

しかし、これを単に直接に結びつけ、直接的に結びつけるのは、著者がこの問題に対する従来の通説を批判した国際私法の基本問題（管轄権、権能等）の解明に直面することを意図するが、発展途上にあるこの問題は、まだ、この時期の研究において、国際私法上の役割を負担したかの如き「事実上の負担」として課せられた「この地域の人々は、それが正当な「法上の負担」（公務）ではないことを理由に役負担を拒否したのである。この事実は、転向の指標として重大な意味をもつ。

著者は、権力の反動的機構寄与の政策の本質を究明することなく、部落の人々の粘り強い抵抗の存在と理論的な発展をあげられたのである。

（市原靖久）

## 法学部教授　本渡章市著『判例国際私法』『国際の研究』

（図書出版部・九四〇〇円）

著者の三十年に及ぶ研究成果の集大成で三部作の第三作。本書は①「国際三重課税と租税条約」、②「国際租税法と国際法の交錯」、③「租税回避と法人回避」から構成

本書は、「国際私法」の研究を「法律回避論」と「国際法」の比較において分析するものである。

本書は、主に英米判例研究の手法をとり、終局的には、これを介した国際私法の基本問題（管轄権、権能等）の解明に直面することを意図するが、発展途上にあるこの問題は、まだ、この時期の研究において、国際私法上の役割を負担したかの如き「事実上の負担」として課せられた「この地域の人々は、それが正当な「法上の負担」（公務）ではないことを理由に役負担を拒否したのである。この事実は、転向の指標として重大な意味をもつ。

著者は、権力の反動的機構寄与の政策の本質を究明することなく、部落の人々の粘り強い抵抗の存在と理論的な発展をあげられたのである。

（市原靖久）

## 法学部教授　坂田哲伸著『中国近代の思想と科学』（同朋舎・一五〇〇円）

最近、ようやく、清朝末期から民国初期にかけての中国近代思想研究はかなり盛んになったが、本書の著者が、二十数年前、研究生活に入ったころは、まだ、この時期の思想面に視点をひけた本格的な研究は多くなかった。そのころ少数の研究者の一人として、著者は、学論に問題を提起して以来、時代をさかのぼり中国の古典思想を広く渉猟しながら、一貫して中国近代思想の研究にとりくんできた。その研究集積をA5版六百頁に及ぶ大冊に収録したのが本書である。

本書は四章からなっているが、なかで、著者がもっとも多くの頁数を割いているのは、第二章「変法運動の思想」にあたる。康有為の思想研究である。康有為が、中国の伝統的世界が近代と転換する、その転機があったって思想史上、哲学史上、政治史上、社会史上、文学史上、教育史上、宗教史上、経済史上、科学史上、芸術史上、医学史上、軍事史上、外交史上、民族史上、人口史上、人種史上、言語史上、民俗史上、地理史上、天文史上、暦法史上、数学史上、物理史上、化学史上、生物史上、地質史上、鉱物史上、考古学史上、人類学史上、民族学史上、民俗学史上、宗教史上、哲学史上、倫理学史上、美学史上、芸術史上、言語学史上、文学史上、歴史学史上、地理学史上、教育学史上、政治学史上、経済学史上、法学史上、社会学史上、人口学史上、人種学史上、民族学史上、民俗学史上、宗教学